

令和6年11月中央市定例教育委員会 議事録

- (1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日、時刻
令和6年11月1日（金曜日） 午後2時00分から午後3時30分
- (2) 出席及び欠席委員の氏名
出席者 志村祐二教育長職務代理者、石原英一教育委員、
河西忠衛教育委員、薬袋美和教育委員
欠席者 石田秀博教育長
- (3) 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名
功刀亜紀子教育総務課長、長田正樹生涯教育課長、中村文彦教育指導監、中澤真紀主幹
山土井幸司主幹、田中裕昭主幹、今村直樹副主幹
- (4) 出席した長及びその事務局部の職員の職氏名
なし
- (5) 教育長等の報告の要旨
- ・ 11月の公務経過報告
 - ・ 令和7年度採用・昇任、校長・教頭候補者等の推薦及び激励面接の実施について
 - ・ 三村小及び玉穂南小の学校のあり方について語る会について
 - ・ 中央市スポーツ協会の代表者（会長）の選任等に伴う打合せ会の開催について
 - ・ 来年度（R7年度）入学見込者数と本年度（R6年度）入学者数との比較について
 - ・ 今後の予定について
 - ・ その他（教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程の確認）
- (6) 会議に付した議案
- ①令和6年度教育委員会の自己点検・評価報告について（令和5年度事業対象）
 - ②その他
- (7) 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
- (8) 議事の概要
別紙のとおり
- (9) 決議事項
- ①令和6年度教育委員会の自己点検・評価報告について（令和5年度事業対象）
→ 原案のとおり承認される。

(10) その他教育長が必要と認めた事項
なし

○ 議事録

教育長 会議に入る前に、本日の会議の書記について、入室の承認を得たいがどうか。

代 理

委 員 異議なし。

1. 開会、あいさつ

教育長 これから 11 月の定例教育委員会を開会する。

代 理

2. 前回の議事録の承認

事務局 委員各位のお手元に届いている 10 月定例教育委員会の会議録について、内容等に何か質問や意見等はあるか。

委 員 異議なし。

3. 報告事項

(1) 教育長からの諸報告

教育長 10 月の公務経過と 11 月の公務予定、令和 7 年度採用・昇任・校長・教頭候補者等の推薦及び激励面接の実施について行うかの確認及び日程決定について。三村小学校及び玉穂南小学校の学校のあり方について語る会について実施する報告。中央市スポーツ協会の代表者（会長）の選任等に伴う打合せ会の開催について依頼。来年度（R7 年度入学見込者数と本年度（R6 年度）入学者数との比較について。今後の予定について。

何か質問意見はあるか。

委 員 令和 7 年度採用・昇任・校長・教頭候補者がすでに決まっている中で、面接に慣れるためにやるのであれば、こちらの希望よりも、その受ける方の希望で激励面接があった方がいいのかと。

事務局 一次試験が合格しないとこの激励面接はないということになる。校長職の場合は、面接までがセットなので、該当者二人は確実になる。やはり、そういう経験がないので管理職登用としての面接をしていただく機会がないまま本番の面接に行くので、緊張感があるところはなかなか経験しないのでありがたいと思う。

委 員 参考になってもらえるのであれば、構わないと思う。

委 員 面接では、具体的に、あなたの学校はどうしていますか、あなたはどうしますかとの質問をされるので、相当深くやってないと、答えられないということもあるので、教頭職の者に関しては意味があると思う。

教育長 本人にとっても効果があるのかなとは思っている。では、実施ということで、25 日で検討する。

事務局 11 月 18 日中北地区教育委員会連合会研修会が、北巨摩合同庁舎とあるが、昭和町役場となるため訂正をお願いする。

教育長 他に質問意見はあるか。

代 理

委員 特になし

(2) その他

事務局 教育総務課長より令和6年11月及び12月の市の行事、教育総務・学校教育関係の予定について説明。続いて生涯教育課長より同月に開催される各種大会等への委員の参加依頼を行った。

教育長 質問意見はあるか。

代理

委員 特になし

4. 協議事項

(1) 令和6年度教育委員会の自己点検・評価報告について

教育長 事務局に説明を求める。

代理 (事務局により令和5年度教育委員会の自己点検・評価報告書により説明) 何か質問はあるか。

委員 評価というのは課長が行ったのか。

事務局 自己点検評価は、課長を中心として担当リーダーが行った。

委員 各担当の個人の評価はどうなっているか。

事務局 個人の評価をもとに担当リーダーが修正等している。

委員 大変よくできていると思う。教育委員会の行事、考え方すべてが第二次中央市教育振興基本計画に基づいて進められている前提で見せてもらったが、教育委員会と事務局の連携の評価については、事前に議題に関する資料を送付し、会議等で活発な意見交換を行った評価3とあるが、そうされているか。ほとんどのところで協議する資料が当日出るため当日見て意見までつくれない。意見を求めるものの資料は送っておいてもらうと、多少なりとも考えてくる時間や調べる時間もあるのでどうか。評価を変える必要はないが、一つ感じた点である。あと、家庭と学校と地域の連携強化という項目がありますが、コミュニティスクールの推進の項目が全く載ってないが。重点施策であれば自己点検をしておかなければいけないのではないかと私は感じる。

事務局 令和6年度から規則の改正などコミュニティスクールの推進を図っているため、来年度の評価の中には入れていきたい。

教育長 評価については3でよろしいか。

代理

委員 少なくとも問題意識があるかどうかなので、評価は別にかまわない。

委員 何か協議をするような大きな問題が起こっていないと思う。暴力行為とかいじめの問題、それから大きな不登校に関わる問題が出てきていないと承知しているが、件数等について聞きたい。

あと、ICTを活用した端末の持ち帰りと活用における学力の関係で、学力向上をそれぞれ各校で行っているのは承知しているが、学校間の学力格差をICTを活用した部分

でどのように格差を埋めているのか。市の学校教育における学力向上、どのように図っていくかという施策が必要ではないかと思う。

事務局 令和6年度に令和5年度の分の評価を行うということで、県が発表した令和5年度の問題行動諸課題調査においては報道機関により公表されたので、そちらにて確認ができる。市の集計については、5月の定例教育委員会の際に、資料として提案したので確認をお願いします。また、不登校のことについて非常に見識が高い山梨大学の先生にお願いをして、教職員研修会を開催した。

ICTについてどう進めていくのかということで、まず教師のICTのスキル向上の研修をしている。今年度は、少しずつでも底上げをして中央市全体の力を上げていきたいというところがあったので、山梨大学の三井先生にICTのアドバイザーになっていただき、モデル校として田富北小・玉穂中をお願いをして授業を見に来てもらいご指導をもらう中で、授業改善を図っている。また、学力向上推進委員会では三井先生に来てもらい、ICTを効果的に活用した授業改善ということでご指導してもらおうよう考えている。

教育長 ICTを使うねらいとは学力向上なのか。

代理

事務局 学力向上よりも授業改善です。

教育長 課題のところにも少し書き加えておくのも良いと思うが、成果と課題と書いてあって成果しかほとんど書いていない。課題があまり触れられてないというのは、評価を3で満足して4を目指してないのと感じる。課題があるから、来年これをやらなければというところを残しておかないと、次メンバーが変わってしまえば、課題もはっきりわからなくて、継承していく踏襲してくだげになってしまう可能性もあるので、項目に成果と課題と書いてあるので、課題は顕著なものについては残して欲しい。

委員 提出時期が12月になっているが、これだと、去年のものを今年生かすのに半分過ぎているけど大丈夫か。皆さんの自己評価を次の仕事に生かすとしたら、時期を考えていかなければと思うが。

事務局 議会に報告していくことを考え12月で作成しているが、時期を検討し、少しでも早く進められるようにしていきたい。

委員 予算編成時期があるが、課題をやるとすれば翌々年度になってしまうという可能性が出てきてしまう。予算に反映しないと事業はできないと思うが、この自己評価に載せなくても、あらかじめ反映されるのか。

事務局 現在の令和6年度の事業実績や事業状況は、各担当や各リーダーが確認している。それは、学校要望や学校訪問を行って分かったことも踏まえて、来年度の予算の要求をしている。あくまでも、これは令和5年度の自己評価であり、できていないことを課題として、実現できるようにしていくものである。令和6年度の実績をもとに、来年度の予算要求に反映していくため、評価とは常にリンクしていない。

教育長 生涯スポーツ事業で表記の仕方が、主な活動というところが成果又は課題の欄になっているが、実績になると思うが。どんなことがあったかとか、今後どのようにしていかなければならないかというのが成果又は課題の欄へ書かれると思うが。

事務局 次回から記載の仕方を検討していく。

教育長 その他何かあるか。

代 理

委 員 特になし。

事務局 この評価報告書は12月の市議会定例会に報告する。また、ホームページの方にも掲載する。

5. 閉会

教育長 以上で、11月の定例教育委員会を閉会する。

代 理